



# 藤田 まこと

No. 25

議会だより

二〇一七年一月

発行者	藤田 まこと
事務所	青森市中央1丁目22-5 青森市議会 社民党控室
	TEL:017-734-5692
	FAX:017-722-8902
印刷所	スタジオとまと
	TEL/FAX:017-761-2770

## 平成28年 第4回定例会

市長選挙の日程から、越年した定例会は、副市長人事が追加提案され全議案を可決しました。遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。今年も地域の皆さんと共に、住みやすい町にするための活動をしてまいりますので、いつでも声をかけて下さい。よろしくお願い申し上げます。



青森市議会議員 藤田 まこと

### アウガ・新市庁舎、新たな対応方針

**概要：**市民のための総合窓口を設置するため、アウガ1階から4階に、市民窓口、税務、福祉、教育関連の部署を移転させる。

方針に、現本庁舎・柳川庁舎の窓口を閉鎖とした事から、柳川庁舎の窓口閉鎖については、再検討をお願いしました。小野寺新市長から直接、再検討をさせて下さい。と答弁がありました。最低でも青森駅東西自由通路ができるまで、柳川庁舎の市民課窓口の存続をお願いしました。

### 可決された、案件

#### ○臨時福祉給付金（経済対策分）支給事業

平成26年4月の消費税率の引上げに伴い所得の少ない方への影響を緩和するため実施している臨時福祉給付金について、消費税率引き上げが2年半延期されたことを踏まえ、経済対策の一環として、平成29年4月から平成31年9月までの2年半分を一括して支給

◆対象者：平成28年1月1日において青森市の住民基本台帳に記録されている者のうち、平成28年度分の市民税（均等割）非課税者（課税者の扶養親族等は除く）<約72,000人>

◆支給額：1人につき15,000円

◆申請期間：平成29年3月16日～平成29年6月16日（予定）

◆支給時期：4月下旬から順次支給

#### ○社会福祉施設等の防犯対策強化事業

社会福祉施設等の防犯対策強化のため、非常通報装置や防犯カメラの設置のほか、外構等の整備費の一部を補助

#### ○民間建築物耐震診断・普及啓発事業（追加補正）

##### ①木造住宅分

昭和56年5月31日以前に建設され、同年6月以降に増改築されていない住宅の耐震診断や診断結果に基

づく耐震改修工事又は建替え工事費の一部を補助

##### ②民間事業者大規模建築物分

「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、耐震診断の結果報告が義務付けられた不特定多数の者が利用する大規模な民間建築物の所有者に対し、耐震補強設計費用の一部を補助

#### ○道路ストック総点検事業

道路構造物である擁壁や、照明灯といった道路附属物などの老朽化による落下や倒壊などの事故防止対策のために行う工事費

#### ○保育所等における業務効率化推進事業

保育所等における保育士の業務負担の軽減を図るため、負担となっている書類作成業務について、ICT化推進のための保育業務支援システム（指導計画やシフト表の作成等）の購入費を補助。また、保育所等における事故防止や事故後の検証のためのカメラの設置費を補助

### その他

#### ○市営住宅小柳第一団地E棟新築工事契約

#### ○青森市森林博物館・青森市合浦デイサービスセンターの指定管理者の指定について

#### ○市道の路線の認定について（元工業高校跡の団地、他）

#### ○災害復旧事業に係る応急工事計画の策定について

#### ○土地改良事業（負担金）

#### ○市営住宅維持補修事業

#### ○小学校公共下水道切替事業

#### ○小柳小学校校舎等改築事業

#### ○西田沢小学校校舎等改築事業

#### ○除排雪対策事業（追加補正）

#### ○誘致企業等立地支援事業（追加補正）

#### ○青森ねぶた祭活性化事業（テント補修）

#### ○まちづくり寄附制度推進事業（追加補正）

#### ○扶助費関連・人件費関連

# 一般質問

避難所の備蓄されている食糧について、どのような状況なのか疑問に思い質問しました。

1. 非常用食糧の備蓄状況と賞味期限を迎える食糧の更新に関する市の考えを質問しました。

**答弁** 学校等の防災活動拠点施設53か所や市民センター等の防災活動拠点施設のバックアップ施設12か所の計65か所に食糧を備蓄している。

備蓄量については、平成26年度から平成27年度にかけて実施した「青森市災害被害想定調査」の結果を踏まえた「備蓄積算人員」を基に、新たな配備目標を設定し、アルファ化米や粉ミルク、乾燥がゆは、それぞれ3食分を、間食としても活用できるカンパンは、1食分を上回る量を計画的に配備している。

備蓄食糧の更新について、カンパンは、各小学校で実施する防災キャンプなどの学校行事等に提供、アルファ化米や乾燥がゆは、自主防災組織や町会・町内会等で実施する防災訓練の炊き出し訓練用に提供している。このように、備蓄食糧については、計画的に更新していくとともに、可能な限り有効活用がなされるよう努めている。

2. 防災活動拠点施設や防災活動拠点施設のバックアップ施設以外の収容避難所へも食糧を備蓄すべきではないか、市の考えを質問しました。

**答弁** 備蓄食糧については、現在、市で指定している184か所の収容避難所のうち、防災活動拠点施設等65か所に分散して配備しており、災害発生時には、必要に応じて各避難所へ輸送することとしている。

更に市では、備蓄を上回る規模で需要が発生した場合に備え、民間事業者との間で、「大規模災害時における食料・生活物資の供給に関する協定」や「大規模災害時における物資輸送に関する協定」などの災害時応援協定を締結し、物資の調達や物資の緊急輸送が必要となる場合に対応する体制を構築している。

市では、防災活動拠点施設等に食糧を備蓄することとし、全ての収容避難所に配備する考えはない。

市民自らも災害に備えていただくため、災害復旧までの数日間を自活できるように、自助として、食糧をはじめとする非常備蓄品の準備などについて、引き続き、広報あおもりや市ホームページ等で周知し、日頃からの防災意識の醸成についても努めている。

※結論として、準備されている非常用品を配置している施設は、その地区のための非常用ではなく、市として分散しているだけでした。また、備蓄食料は帰宅できない緊急避難者のため準備をしているとの事、全市民分は備蓄できないことから、市民自ら災害に備え、数日間の食料を準備をしてくださいとの考えです。

## 障害者の雇用について

要旨① 市役所における障害者の雇用率及び雇用実数を質問しました。

**答弁** 市長部局、教育委員会、水道部及び交通部を合わせた市役所全体の雇用率は、平成28年6月1日現在で、2・46%となっており、法定雇用率の2・3%を上回っている。

要旨② 市役所における障害者雇用の取組状況について質問しました。

**答弁** 本市においては、先に施行された『障害者の雇用の進等に関する法律（いわゆる障害者雇用促進法）の一部改正』及び『障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律（いわゆる障害者差別解消法）』の趣旨を踏まえ、更なる障害者雇用の促進を図ることとしており、雇用率の達成や、雇用者数の増加のみならず、障害のある方の特性・適性に応じ、その有する能力を有効に発揮していただけることに重点を置いた対応の強化をすべきものと考えている。

## 本年度の取組

- (1) 障害者を対象にした職員採用試験の取組
- (2) 臨時職員の採用に係る取組
- (3) 障害のある方を対象とした職場実習の取組
- (4) 市内事業者における雇用促進に向けた取組

将来的には、本市の取組が、市内事業者におけるモデルケースとなるよう、市役所における雇用とあいまって、市全体の障害者雇用率の向上をも意図して、力を尽くす所存である。

○ 人事院勧告の実施について

○ アウガ、市庁舎建てかえ、青森駅周辺整備について

## 予算委員会

○ 保育所等における業務効率化推進事業について

○ 社会福祉施設等の防犯対策強化事業について



☆ご意見・ご要望をお待ちしています☆

社民党控室 藤田 まこと

TEL:017-734-5692 FAX:017-722-8902

ホームページ アドレス <http://www.fujita-makoto.jp/>